

2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 1 月 29 日作成)

小委員会名	木質構造接合部設計法小委員会		主 査 名：小松幸平 就任年月：2004 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (木質構造運営委員会)		委員長名：和田 章 主 査 名：鈴木秀三
設 置 期 間	2004 年 4 月 ~ 2008 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>・初年度： 既往の接合部設計法を各種設計マニュアルから収集し、類型化し標準設計法として整理できるものは整理し、設計に必要なパラメータ類のデータを収集する。</p> <p>2 年度： 類型化された幾つかの接合法について、執筆担当者を決定し、設計法の原案を作成し、小委員会で妥当性を検討する。</p> <p>3 年度： 最終的に、「木質構造接合部設計ノート」として出版できるよう、内容の精査、フォームの統一を運営委員会の指導の元に進める。</p> <p>4 年度： 「木質構造接合部設計ノート」の執筆と出版に取り組む。</p>		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無 青木謙治(森林総研) 板垣直行(秋田県立大学) 稲山正弘(東京大学) 小野 泰(ものづくり大学) 軽部正彦(森林総合研究所) 小松幸平(京都大学生存圏研究所) 槌本敬大(国総研) 野口弘行(明治大学) 原田浩司(山佐木材) 堀江和美(木質構造研究所) 宮武 敦(森林総合研究所) 安村 基(静岡大学)		
設置 WG (WG 名：目的)	なし		
2006 年度予算	180,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	12 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	1. 最終年度に刊行することを目標としている
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	2006 年度の 11 月段階において、当初予定していた収録項目全てについて、一通りドラフト原稿を収録することができた。提出された資料は全て電子ファイル化され、委員会幹事が運営するホームページに掲載され、編集委員全員が情報を共有できる態勢が完備されている。また、編集の進捗状態もホームページ上で視覚的に確認できるよう配慮されており、委員会活動は計画通り、出版物の刊行に向けて順調に進んでいる。
委員会活動の問題点・課題	委員会全体としての出席率は良好であるが、遠方の委員は旅費の問題から出席が難しい状況にある。